



平成 24 年 12 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 マ ル マ エ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号：6264 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久
(TEL . 0996-64-2900)

平成 24 年 11 月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 24 年 11 月度月次受注残高情報を開示いたします。

記

1 . 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
F P D分野	206	81.8%	16.9%	180.8%
半導体分野	32	13.0%	5.8%	8.2%
その他	13	5.2%	3.4%	541.0%
合計	252	100.0%	13.9%	126.7%

2 . 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

区分	H23.12月	H24.1月	2月	3月	4月	5月
F P D分野	51	44	16	26	41	53
半導体分野	35	31	39	34	26	31
その他	5	45	51	48	48	34
合計	92	123	107	109	116	119

区分	6月	7月	8月	9月	10月	11月
F P D分野	41	44	87	162	248	206
半導体分野	26	36	25	25	31	32
その他	35	25	14	12	13	13
合計	103	106	126	200	293	252

3. 月次受注残高の概況

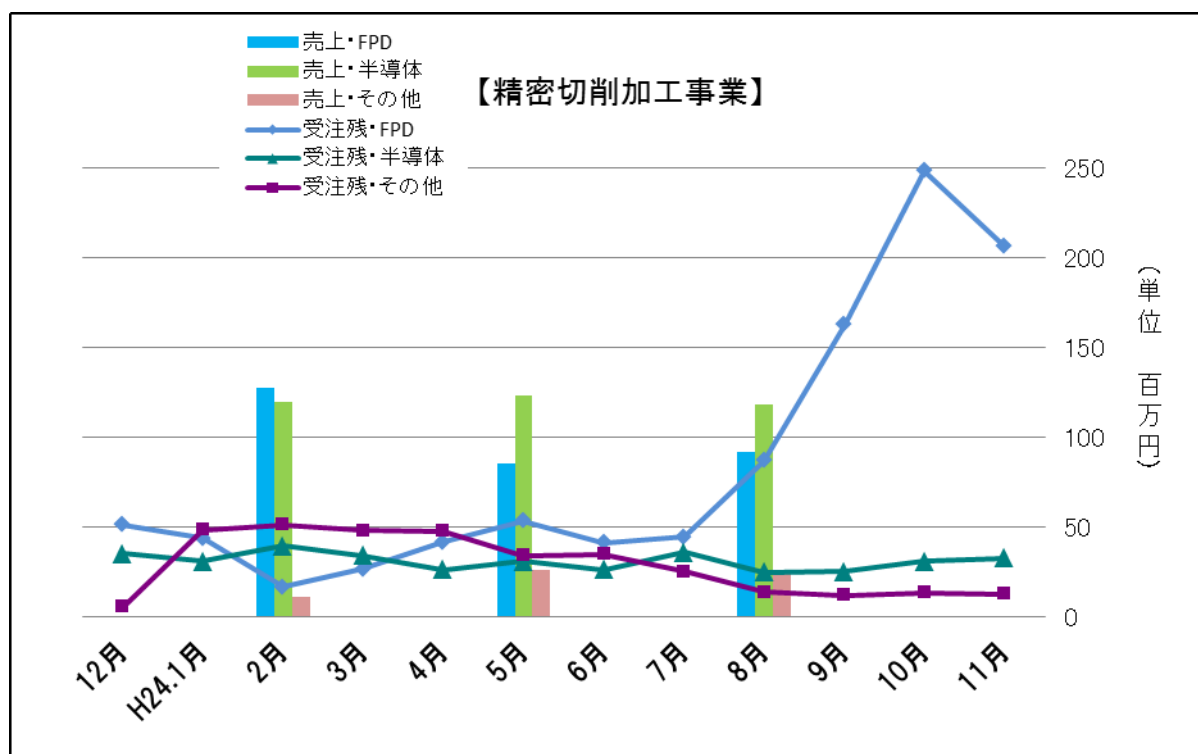
平成 24 年 11 月末の受注残高は、F P D 分野において既存受注分の出荷検収が進み始めた事から、対前月増減率で 16.9%減、対前年同月増減率では 180.8%増の 206 百万円となりました。半導体分野においては、受注及び出荷検収が堅調に推移し、対前月増減率で 5.8%増、対前年同月増減率では 8.2%減の 32 百万円となりました。一方、太陽電池分野を含むその他分野においての受注に大きな動きは無く、対前月増減率 3.4%減、対前年同月増減率では 541.0%増の 13 百万円となりました。これらの結果、平成 24 年 11 月末の受注残高は、対前月増減率 13.9%減、対前年同月増減率 126.7%増の 252 百万円となりました。

今後の見通しといたしましては、F P D 分野では、受注の山は超えており、短期的には出荷検収に伴い受注残高は減少傾向の見通しです。半導体分野では、半導体製造装置市況の停滞が続きながらも底打ちしたと見られており、今後は市場の改善に伴って緩やかに増加する見通しを持っております。また、その他分野では、新規顧客への営業活動は続けながらも、F P D 分野と半導体分野に生産力を集中することから受注額としては大きな変化は無いと考えております。

全般的には、半導体市場の厳しさが続く中で、スマートフォンなどの中小型液晶製造装置の活況に対し、独自技術による低コストを武器に積極的な取り組みを進めております。また、協力企業との取引拡大など生産流動化を進め、市場環境変動に影響されにくい構造改革に取り組んでおります。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短い当月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。